

『本部』革マル反動集団の手先 竜崎、木皿、格和を糾弾する！

日刊 動労千葉

79.8.6

No. 191

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二五八・九・(公衆)三三三・二七二〇七

暴力事件デッチ上げと 代議員出席策動を許さないぞ！

動労千葉に結集するすべての組合員の皆さん。とりわけ新小岩支部の皆さん。わが動労千葉が、国家権力・当局・「本部」革マル反動集団・国労内日共分子・鉄労右翼集団の五位一体となった弾圧・組織破壊攻撃と真向うから対決し、闘い抜いている最中に、動労千葉に背を向け「本部」革マル反動集団の手先になって動労熊本大会に出席しよう等という裏切り行為を新小岩支部組合員竜崎和夫、木皿忠三、格和康昭は画策してきた。そればかりか、八月三日、竜崎、木皿は、代議員出席を画策した真意をきこうとした新小岩、津田沼支部組合員に対し、バカヤロー呼ばわりし、竜崎にいたってはロッカーをケトばし組合員を突き飛ばす挑発行為を行っていたながら、動労千葉に暴力行為を受けた等とデッチ上げを行ってきたのである。動労千葉の団結署名に依りながら、今になって「本部」に寝がえり、仲間を足蹴にして、「本部」革マル反動集団に身を投じるといふ公然たる裏切り行為に走り、あまつさえ、ありもしない暴力事件までデッチ上げ、動労千葉一四〇〇名に敵対を開始した竜崎・木皿・格和をわれわれは徹底して糾弾する。動労千葉を裏切り、かつまた全国の良心的組合員の闘いを裏切り、「本部」革マル反動集団の手先になることがいかなる反労働者の行為であり犯罪行為であるかを、動労千葉一四〇〇名の怒りの大衆的糾弾行為をもってじっくりと理解させてやろうではないか。

代議員出席は革マルの手先になることだ

われわれは、竜崎・木皿・格和がいかなる言い訳と居直りを計ろうとも、「本部」熊本大会へ代議員として出席することは許さない。大会へ出席することは、四月二一日新小岩支部結成を妨害すべく六五〇名を動員し、窓ガラスやドアを破壊するといふ暴力的襲撃、そして4・17津田沼支部襲撃といふ歴史的犯罪に手を染めた「本部」革マル反動集団を是認するということばかりか自らも「本部」革マル反動集団の立場にたつてその手先と化し、新小岩支部はもとより動労千葉、全国の良心的組合員に敵対するということである。そればかりか、昨年末以来の「本部」革マル反動集団による暴力的組織破壊攻撃に抗して、動労千葉一四〇〇名の血と汗の結晶としてかちとった動労千葉の団結と、暴力支配に抗し動労大改革に共に決起する全国の良心的組合員の闘いに傷をつけんとする反労働者の行為であるのだ。

竜崎・木皿・格和よ、自らの出世をのぞみ、闘いの苦しさから逃亡し、「本部」に「良心的組合員」等とおだてられ、動労千葉破壊の手先になるならばなるがよい。しかし、動労千葉の組合員は君達が、過去に現在にわたっていかなる行為をとっていたのか充分に知り尽くしているのだ。それは、大衆的糾弾行動のなかで反省するまでじっくりと明らかにしてやろう。

暴力はなかつた、と木皿はいう

八月四日、「本部」革マル反動集団は、「動労

千葉は、外人部隊を導入して木皿に殴る蹴るの行を働いた」等とデッチ上げ、国鉄当局に弾圧を請うてきた。

動労千葉による、竜崎以下三名への説得行動に恐怖した「本部」は、自らの暴力集団の本性を露し、あたかも動労千葉が暴力集団であるかのことでマをねつ造したのである。

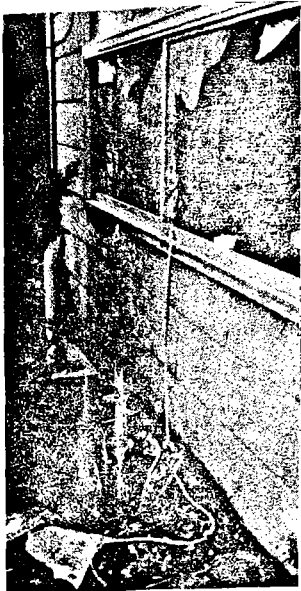
暴力事件は一〇〇%デッチ上げだ。木皿は、新小岩支部の組合員に「俺は暴行を受けていない」とハッキリと説明しているではないか。そればかりか、「暴行を受けたなどといわれて迷惑だ。俺は『本部』にいう」と語っているのだ。

それだけではない、「本部」が暴行を受けたとデッチ上げているが退区後一時間にわたって木皿は、動労千葉の役員と新小岩駅前喫茶店で話し合いに応じていたのだ。これが事実であり、8・暴力事件は「本部」一流の大ウソとデマによるデッチ上げである。

「本部」は、暴力事件をデッチ上げ、当局に弾圧を要請するなど鉄労以下の組織であることを自己暴露した。

動労千葉の組合員の皆さん！組織破壊、裏切り分子、竜崎・木皿・格和を断じて許すな。

動労千葉一四〇〇組合員の怒りで徹底糾弾せよ。



「本部」の暴行によって破壊された窓ガラス(4.21新小岩)

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！